

胃切除術の入院から退院までの流れ

ID :@[Patient.ID] 氏名 :@[Patient.Name] 様

月日	入院前	入院日	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	1日目	2日目	3日目	4日目～	退院まで (退院目標:術後10日)
治療	・歯科外来(術前 口腔ケア) ・ベガサス質問票を渡す		・歯科外来(術直前 口腔ケア)	・アクセサリーなどはすべて外します ・術前術後衣、弾性ストッキングを着用し手術室へ行きます	・点滴 ・心電図モニター ・酸素 ・フットポンプ (適宜終了していきます) ・歯科往診(術後 口腔ケア)				・歯科外来(術後口腔ケア)	
処置 検査等			・麻酔科医・手術室看護師の訪問があります		・術後3日間は持続的に痛み止めを使用しています ・痛みが強い場合や息が苦しく感じる時は我慢されずにお知らせ下さい ・退院までは弾性ストッキングを着用し、血栓予防運動を行います				・抜糸がある場合とない場合があります ・お腹の管を抜きます(3～7日目)	
食事		・経口補水液について説明があります。決められた時間までに行けるだけ飲んでください ・間食を避け病院食を食べて下さい		・決められた時間まで水とお茶のみ飲むことができます ・麻酔科医指示の時間から絶飲食です 	・絶飲食です 	・主治医の許可があれば飲水開始になります 	・主治医の許可があれば栄養指導後、食事を開始します ・1日6回食の分割食です ・流動食→3分粥→5分粥→全粥の順にアップしていきます ・ゆっくり時間をかけて食べて下さい ・嘔気や気分不良などの症状があればお知らせ下さい ・退院前にご家族と一緒に栄養指導を受けていただきます 			・栄養士 訪問(食時開始時) ・栄養管理科(退院前)
薬	・指示されたお薬を服用して下さい ・内服中のお薬とお薬手帳を入院日にご持参下さい			・術前に内服していたお薬は許可があるまで中止です						
安静度	・以下の場合には連絡して下さい * 食事や水分が取れない * 吐き気、腹痛 * 38度以上の発熱 など ・手術日前後1ヶ月は予防接種や作用の強い薬等の治療は控えて下さい ・術前術後衣は貸し出し(有料)を利用していただきます	・活動制限はありません ・転倒・転落のないよう環境整備を行っていきます		・ベッド上安静です ・楽な姿勢がとれます ・点滴や管が入っています ・外れないように固定していますが、引っ張らないように気を付けて下さい 	・座る・立つ練習、足踏みなど行います ・体調に合わせて歩行を開始します。最初は看護師と一緒に歩きます。 ・歩行時にふらつき、めまいがおきたら、すぐに座り込み無理をしないようにして下さい ・転倒・転落のないよう環境調整を行っていきます ・移動が難しい場合はナースコールを押して下さい ・看護師が移動を介助、または安全に歩行できるように見守ります 					
排泄		・排便状況を確認し下剤を飲んでいただく場合があります		・尿管が入り、自然に尿が出る状態となっています ・便はトイレに行けるようになるまでベッド上で介助します	・歩行開始後、尿管を抜きます ・トイレへ行くのが難しい場合はポータブルトイレや尿器を使用します ・排泄の状態をお伺いします					
清潔		・シャワーができます	・ヘそのそうじをします ・シャワーはできません	・看護師の介助で体を拭き、着替えをします	・シャワーの許可がでるまでは定期的に身体を拭き・洗髪を していきます					
説明	・パンフレットを入院までに お読み下さい。入院時には ご持参下さい ・高額療養費申請手続きをお願いします ・禁煙です	・手術前後の説明や必要物品の確認をします							・退院後の生活について看護師より説明します	